

令和三年度 第二学年 一学期中間テスト (国語科) 問題

組 番 名前 ()

一、次の——を、読み書きしなさい。必要ならば送り仮名を送って漢字に直しなさい。〔知技・各2点/20点〕

- ① 世界の最高峰。
- ② 歩合制の仕事。
- ③ 榮枯盛衰。
- ④ めいぼを配る。
- ⑤ はいけいと敬具。
- ⑥ 規制のかんわ
- ⑦ ふくいんを告げる。
- ⑧ 手をたずさえる。
- ⑨ 暑さにたえる。
- ⑩ 犯人がひそむ。

二、次の熟語の構成を、下から記号で選び、答えなさい。(同じものを何度選んでも良い。)[知技・各2点/14点]

- ① 早春
- ② 市営
- ③ 洗顔
- ④ 速報
- ⑤ 地震
- ⑥ 道路
- ⑦ 伸縮

- ア 主語述語の関係。
- イ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表す。
- ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する。
- エ 意味の似ている漢字の組み合わせ。
- オ 意味が対になる肝心組み合わせ。

三、次の詩を読み、後の問いに答えなさい。〔思判表・各2点/8点〕

見えないだけ 牟礼 慶子

空の上には
もっと青い空が浮かんでいる
波の底には
もっと大きな海が眠っている
胸の奥で
ことばがはぐくんでいる優しい世界
次の垣根で
蕾をさし出している美しい季節
少し遠くで
待ちかねている新しい友だち
あんなに確かに在るものが
まだここからは見えないだけ

問一 この詩の形式を漢字で答えなさい。

問二 この詩は、大きくいくつのまとまりに分けられるか、漢数字で答えなさい。

問三 この詩に用いられている表現技法を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 倒置法
- イ 擬人法
- ウ 直喩
- エ 隠喩

問四 「まだここからは見えないだけ」の部分から感じられる作者の思いを、一つ選び記号で答えなさい。

- ア 想像の中で豊かな広がりのある世界を築き、自分を見つめ直してほしいという思い。
- イ これまでに経験したことのない厳しい現実に対して、心構えをしてほしいという思い。
- ウ これから新しい世界に出会うことに対して、希望や喜びを感じてほしいという思い。
- エ この先に待ち受けているものに対して、勇気を出して立ち向かってほしいという思い。

四、次の文章を読み、後の問いに答えなさい。〔思判表・各2点/13点〕

「あなたは何をのんきなことを言っているの。由起夫が、いつまでもああやって気ままな暮らしをしているのを見てみると、悠太に悪い影響が出ないか心配でしかたがな

いのよ。例えば極端な話、大人になっても毎日働かなくてもいいんだ、なんて思って勉強の意欲をなくしていったとしたら、どう責任取ってくれるのかしら。」父が何かを答えているようだったが、はっきりとは聞こえなかった。ただ、僕のことやぐうちゃんが責められるのは少し違う気がする。そう思うと、電気の消えたぐうちゃんの部屋が急に寂しく感じられてきた。

それから、ぐうちゃんがまた僕の家に戻ってきたのは、九月の新学期が始まってしばらくした頃だった。**2**顔と手足が真っ黒になっていて、パンツ一つになると、どうしても笑いたくなくなって困った。

残暑が厳しい日だった。久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思った。またからかわれてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたい感じた。ところが、ぐうちゃんの話は、でっかい動物のでも、暑い国のでも、寒い国の話でもなかった。

「旅費がたまったら、これからまた外国をふらふらしてくるよ。」

ぐうちゃんは突然そう言った。「でもまあもう少し。」にはこんな意味があったのか。ぐうちゃんはいつもと変わらずに話を続けている。それなのに、ぐうちゃんの声は**3**どんどん遠くなっていく。気がつくど、僕はぶっくらぼうに言っていた。

4勝手に行けばいいじゃないか。」

ぐうちゃんは、そのときちょっと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃんを残して僕は部屋を出た。

それ以来、僕は二度とぐうちゃんの部屋には行かなかった。母は、そんな僕たちに、あきれたり慌てたりしていたけれど、父は何も言わなかった。十月の初めに、ぐうちゃんは小さな旅支度をして「いそろう」を卒業してしまった。

出発の日、僕は、何て言っているのか分からないまま**5**ぐうちゃんの前立っていた。ぐうちゃんは僕に近づき、あの表情で笑った。

問一 両親の話を聞いたとき、「僕」はぐうちゃんに対してどんな気持ちになったか、一つ選び記号で答えなさい。

ア 羨ましい イ 嫌だ ウ 気の毒だ エ どうでもいい

問二 **2**顔と手足が真っ黒になっていて」から、どんなことが分かるか、次の()に入る言葉を、「屋」という言葉を使って、二字で書きなさい。

★ぐうちゃんが()にいたこと。

問三 **3**どんどん遠くなっていく」について、後の問いに答えなさい。①どんな様子を表しているか、一つ選び記号で答えなさい。

ア ぐうちゃんの話が頭に入ってこない様子。 イ ぐうちゃんの声が小さくなっていく様子。

ウ 「僕」の体力がどんどん弱っていく様子。 エ 「僕」の興味がしだいに薄れていく様子。

②この表現から、「僕」のどんな気持ち分かるか、**二十五字以内**で書きなさい。

問四 **4**勝手に行けばいいじゃないか。」と、ぶっくらぼうに言ったのはなぜか、**四十字以内**で書きなさい。【3点】

問五 **5**ぐうちゃんの前立っていた」のはなぜか、一つ選び記号で答えなさい。

ア 勝手に行けばいいと言ったまま分かれるのは心残りだったから。 イ ぐうちゃんへの怒りが解けていないことを伝えたかったから。

ウ ぐうちゃんがどこへ行くつもりか確かめたいと思ったから。 エ まだ写真を見せてもらっていないので催促したかったから。

五、次の古文を読み、後の問いに答えなさい。【知技・各2点／8点 思判表・各2点／9点】

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

秋は夕暮れ。夕日の差して山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などの連ねたるが、いと小さく見ゆるは、いと4をかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、また6さらでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も7白き灰がちになりてわろし。

(現代語訳)

春は夜明けがよい。段々白んでいく山際の空が少し明るくなって、紫がかつた雪が細くたなびいているのがよい。

秋は夕暮れがよい。夕日が照って山の端が近くなったとき、からすがねぐらに三羽四羽、二羽三羽とせわしなく飛んでゆく姿にしみじみとしたものを感じる。まして、雁が連なつて飛んでゆくのが、とても小さく見えるのは、実におもしろい。日が沈み、風の音や虫の音が聞こえるのは言つまでもなく趣深い。

冬は早朝。雪が降っているのは、言つまでもない。霜が真っ白なもの、またそうでなくとも、たいそう寒いときに、火などを急いでおこして、炭を持って(廊下などを)通っていくのも、たいへん似がわしい。昼になって、(寒さが)だんだんゆるんでいくと、火桶の火が白い灰ばかりになって、好ましくない。

問一 「枕草子」が、①成立した時代と②作者を漢字で答えなさい。【完答】

問二 「枕草子」のように、作者が見聞したり体験したりして、感じたことを書いた文章を何というか答えなさい。

問三 「春はあけぼの」や「たなびきたる」の後にはどんな言葉が省略されているか、古文中から三字で書き抜きなさい。

問四 「1をかし」を、①全て平仮名で現代仮名遣いに直し、②現代語の意味を現代語訳から書き抜きなさい。

問五 「秋」の段落で、聴覚を働かせた一文を古文中から探し、最初の五字を書き抜きなさい。

問六 「6さらでも」は「そうでなくても」と言う意味だが、具体的にどんなことを指しているのか、一つ選り記号で答えなさい。

ア いつもの冬の寒さでなくても イ 雪や霜が見られなくても ウ 霜で白一色にしか見えなくても エ それほど朝早い時間でもなくとも

問七 「7白き灰がちになりてわろし」とあるが、作者は炭火はどんなときの、どんな様子が良いと考えているか、三十字以内で書きなさい。【3点】

六、次の文章を読み、後の問いに答えなさい。【思判表・各2点／13点】

大阪市内では、なせクマゼミの占める割合が、これほど高くなったのか。私たちは、幼虫が「②孵化して土に潜る段階」に注目した。「仮説3」によると、雨が降ると土がぬかるんで軟らかくなり、幼虫が地面に潜りやすくなる。しかし、都市化の進んだ大阪市内では、地表の大半が舗装されており、セミは地面に潜れない。さらに、公園などに残された土も、人の足で踏み固められ、ヒートアイランド現象の影響で乾燥しきっている。雨が降っても、野原や森林の土のようにぬかるむことはない。

私たちは、図1に示した抜け殻調査をする際に、それらの地点の土の硬さも測定していた。その結果、クマゼミが多い市内の公園は土が硬く、クマゼミが少ない市外の緑地や森林は土が軟らかいことがわかった。私たちは、この違いに注目し、次のような仮説を立てた。

「仮説3」クマゼミの幼虫は土を掘る力が強く、ヒートアイランド現象による乾燥と地表の整備によって硬化した地面にも潜ることができる。

この仮説を検証するために、私たちは、セミの幼虫が土に潜る能力を実験で比較した。まず、四段階の硬さに押し固めた土を用意して、そこに孵化したばかりの幼虫を入れた。そして、一時間以内に潜れるかどうかを観察した。結果が図7である。クマゼミは他のセミと比べ、硬い土に潜る能力が圧倒的に高かった。乾燥と地表整備で、他のセミが潜れなくなるほど硬くなった地面にも、クマゼミだけは潜ることができる。これが、**③大阪市内でクマゼミの占める割合が高まった原因と考えられる。**

以上のことから、**⑤大阪市内でクマゼミの占める割合が高まった背景には、都市部におけるヒートアイランド現象の影響があることが明らかになった。**ただし、冬の寒さのかんわは関係がなかった。私たちの検証の範囲で関連が認められるのは、気温上昇で孵化の準備が早まり、梅雨と重なってクマゼミの孵化率が向上したこと、そして、ヒートアイランド現象による乾燥や地表整備で硬化した都市部の土に潜る能力が他のセミと比べて圧倒的に高かったことの二点である。

問一 問いを提示している一文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

問二 「仮説3」について、筆者はどんな事実に着目して、「仮説3」を

立てたのか、初めの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

問三 「③大阪市内クマゼミの占める割合が高まった原因」は何だと筆者は考えているか。根拠となる実験結果を示すひと続きの二文を探し、初めの七字を書き抜きなさい。

問四 図7を示す効果をまとめた、次の空欄に入る言葉を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

★ 実験結果を(A)に伝える効果と、筆者の仮説が正しいことを裏付ける(B)となる効果。

ア 意図的
イ 一般的
ウ 視覚的
エ 根拠
オ 例示
カ 反証

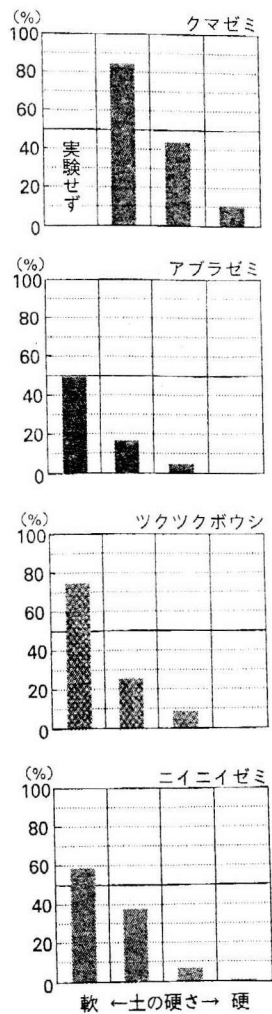


図7 土に潜ることのできた幼虫の割合

問五 「⑤大阪市内でクマゼミの占める割合が高まった」要因を本文中の内容を参考に、解答欄にある書き出しに続けて、**六十字以内**で書きなさい。【3点】